

平成28年1月4日から

クリーンヒルこもろが運営を開始します

小諸市ごみ処理施設「クリーンヒルこもろ」は、平成27年9月から試運転を行い、計画どおりの性能で運転できることが確認できました。このため、平成28年1月4日から本格的に運営を開始し、市内の家庭ごみの処理を行います。▼問い合わせ先 生活環境課 ごみ減量推進係

■環境保全の徹底を図ります

「クリーンヒルこもろ」は、ごみの焼却のほか、リサイクル処理も行う総合的なごみ処理施設です。ごみ処理で必要となるのが、環境保全の徹底です。「クリーンヒルこもろ」では、焼却の際に発生する排ガスを高度処理することにより、排ガス中のダイオキシン類濃度を、法規制値の10分の1（ 0.5 ng-TEQ/m^3 ）以下にしており、近隣の焼却施設の中で最も厳しい自主規制値を設けて運営します。また、工場排水は施設内で処理し、場外排水をしない方式を採用し、ごみピット（ごみを溜める設備）は、特別なコンクリートによる構造とするなど、徹底した臭気対策にも取り組んでいます。

■家庭ごみの直接搬入が可能

これまで市の処理施設では、

タンスや机などの木製粗大ごみを持ち込むことができませんでした。「クリーンヒルこもろ」では、粗大ごみを切断・破碎する設備を設けており、家庭の粗大ごみを含め、生ごみを除くすべての家庭ごみの搬入が可能です。なお、ごみの搬入には手数料がかかるなど、搬入ルールが定められていますので、新しい「市ごみ分別カレンダー」で確認してください。

■環境学習の拠点とします

「クリーンヒルこもろ」は、環境学習の拠点施設としての活用も進めていきます。その一つとして、管理棟2階に環境学習用フロアを設け、ごみ処理の現場を窓から見ていただけるようにしました。このフロアには、展示スペースも設け、市ごみ減量アドバイザーによる掲示物も展示します。このほか、管理棟3階には、焼却の熱を利用した温浴設備も設けています。

●排ガス濃度監視モニター



施設入口には、排ガス濃度監視モニター（写真左）が設置されており、煙突から排出されている排ガスに含まれる法規制物質（塩化水素、硫黄酸化物、窒素酸化物、一酸化炭素、ばいじん）の平均濃度と施設の自主規制値を確認いただけます。

※排ガス1 m³中に10億分の1グラム相当の濃度があることを示します。

◆処理能力

- 1) 焼却24トン/日（16時間運転）
- 2) リサイクル
処理5トン/日（埋立ごみからの金属回収、プラスチック製容器包装・ペットボトルの圧縮梱包）
保管7.2トン（びん、処理された資源物）
剪定枝チップ化0.7トン/日

◆工事期間 平成25年6月～平成27年12月

- ◆建設工事費 2,205,000,000円
- ◆工事請負者 川崎技研・竹花工業JV
- ◆運営事業者 小諸グリーンサービス（川崎技研、竹花工業、イーステージの出資会社）

◆開設時間

- 1) 平日：午前9時～正午
午後1時～4時
- 2) 毎月第3日曜日：午前9時～11時30分

